「平和と人権」市民ネットワーク情報 N018-5

事務局発行(℡ 0557-45-1182)　http://peaceito.moo.jp　2018.5/18

5/3 憲法集会、ふつうの人が一歩前に！

(↑5月4日付け「伊豆新聞」より)

◆5 月 3 日当日の朝、伊東は激しい雨と風に見舞われ、開会が危ぶまれました。が、昼前には天気も回復し、会場の「藤の広場」は絶好の集会日和となりました。

開会あいさつで、「市民アクション」代表の斎藤さんが、憲法 12 条を引いて、自由と権利を保持するためには私たちの不断の努力が求められる、と訴えました。続いて、U さんと S さんがコミカルな漫才を演じ、会場の雰囲気を和らげました。次に、中川洋三郎さんが迫力ある弾き語りを披露。今年の集会は歌と音楽が柱です。古川さんと川合さんのアコーディオン伴奏で参加者全員でフォークの名曲を三曲歌い、一体感のある空間が生まれました。このころ、参加者は 70 名近く。スピーチを間に挟んで、浦島浩司さんと「ユンタク」の店主・伊波さんがギター片手に二曲を熱唱。会場が盛り上がりました。スピーチに登場したのは集会初参加の長尾恵美子さん。「私はほんとに普通の主婦です」と前置きをされ「少しずつ歩んでいきます」と締めくくられた話は新鮮で感動的でした。向井さん、宮崎さんは自分史を交えてお話されました。トリは加藤さん。戦前・戦中の伊東にまつわるエピソードを紹介されました。集会の締めに「決議文」(後掲)を採択し、佐藤さんの音頭で全員でコールをしました。盛り上がりのある元気の出る集会になりました。

◆集会後は、斎藤さんと稲葉さんを先頭に市内をパレード。行進に加わった人は 60 名弱でした。先導車から市民に訴えました、「ウソと偽りに満ちた安倍政権に国の基本法である憲法を変えさせていいのでしょうか。憲法無視の安倍首相に憲法改正を口にする資格はあるのでしょうか」と。

こうして二年ぶりの伊東での憲法集会は無事に終わりました。「伊東市民アクション」を構成する団体に有志が加わり、参加者は倍近くに増えました。司会者の石井さんを始めたくさんの人の力が集まって、憲法集会を成功に導きました。　(文責　三好康昭)

運動をしている一人になれた　向井一雄

憲法集会、予想以上の参加で盛り上がり、良かったと思います。企画・運営された方々、お疲れさまでした。

私はスピーチをさせてもらいましたが、いつも教室で生徒を前に授業でしゃべるのと違い、緊張して、思っていて伝えたかったことの半分も話せなかったような気がします。ただ時代に逆行するような憲法改正に強く反対する気持ちが、自分の母親と同世代の方に少しは伝わったような気がして、ちょっと嬉しくもありました。

いつもは、集会にもパレードにも、お客さんのように参加するだけでしたが、今回はスピーチをさせてもらったことで、やっと一緒に運動をしている一人になれたような気がしています。今後は、自分の周りに少しでもこの運動に賛同してくれる人が広がるよう、署名活動などに力を入れたいと思います。

集会決議文

私たちは日本国憲法の以下の条文が不滅の輝きを持っていることを疑いません。

一、憲法前文「日本国民は、政府の行為によって再び戦争の惨禍が起きることのないようにすることを決意し、ここに主権が国民に存することを宣言し、この憲法を確定する。」

一、憲法前文「日本国民は、平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して、われらの安全と生存を保持しようと決意した。」

一、憲法 97 条「この憲法が日本国民に保障する基本的人権は、人類の多年にわたる自由獲得の努力の成果であって、これらの権利は過去幾多の試練に耐え、現在および将来の国民に対し、侵すことのできない永久の権利として信託されたものである。

ここにうたわれた国民主権、平和主義、基本的人権の尊重は、日本国憲法の精髄であって、これに反する一切の憲法、法令は排除されます。安倍政権が狙う九条改憲、緊急事態条項の創設は、この基本原理に真っ向から挑戦するものです。彼らがこれまでやってきたことは、民主主義を蹂躙し、戦争への道を切り開き、人権をないがしろにすることでした。その総仕上げとして今、憲法を変えようとしています。

・私たちは 9 条改憲に「NO！」の声を上げます。
・私たちは戦争への道に「NO！」と叫びます。
・私たちは安倍政権そのものに「NO！」の声を突き付けます。

憲法の保障する自由と権利は私たちの不断の努力によって守られます(12 条)。私たちは、この憲法の要請を堅く胸に刻み、改憲阻止のために力を合わせて闘います。右決議します。

↑決議文を読み上げる川合さん

2018 年 5 月 3 日

伊東市憲法集会・参加者一同

宇佐美、憲法ミニ学習会のお知らせ

◆昨年 11 月から、市内のコミセンを単位に、地域ごとに「憲法ミニ学習会」を開きました。これまでの４回の学習会に延べ 120 人が参加しました。そのうちの４割を地元の方が占めています。地域で学習会を開いた目的が十分に達せられました。

さて、第 5 回「ミニ学習会」の要領は以下の通りです。詳しくは別紙(or 添付)をご覧ください。

・日　時…５月２６日(土) １４：００～１５：４５　(受付は 13:30 から)
・会　場…宇佐美コミュニティセンターの 2 階視聴覚室　(℡47-3399)
・テーマ…「語ろう、憲法のこと・平和のこと」
・主　催…「伊東市民アクション」、問合せ：℡37-9134

※最初に DVD「９条改憲って何？」を見て、その後グループごとに憲法改正についての疑問や意見を出し合い、交流を深めます。参加費は無料です。是非、参加してください。

なお、駐車場はコミセンの他、向かい側の「中央広場」の芝生スペースをお使いください。

保養ステイにご支援を

「市民ネットワーク」賛同者の皆さま

大変ご無沙汰しております、子どもたちを放射能から守る伊豆の会の安部川てつ子です。日頃ご厚情を賜り厚くお礼申し上げます。

今夏休みもリフレッシュ保養に取り組めることとなりました。

3.11 から 8 年目を迎え、益々保養の必要性を感じます。近年は避難先から帰った母子の利用が目立っています。2017 年 3 月 31 日で住宅費補助（自主避難に対する）が打ち切られたのを機に福島に帰った母子は「日々放射能が気になりストレスとなります。福島で暮らすからには出来ることをしようと思った」と話します。保養先で思いっきり土や植物に触れて子どもたちの本来あるべき姿に戻り、保護者も心からリラックスして過ごせます。「また福島で頑張ろうと思えるのです。」

チェルノブイリの事故では 5 年後、子どもたちの甲状腺ガンの多発に事故の影響を認め、10 年後には国費で年間 24 日～1 ヶ月すべての子どもたちを対象に保養が行われてきました。32 年後の今でも行われています。

日本中の市民団体が連携して国の政策になるまで続けていかなければなりません。それには多くの人たちのご支援に頼るしかありません。どうぞよろしくお願い申し上げます。

2018. 5. 14

子どもたちを放射能から守る伊豆の会
安部川てつ子

【お断り】前号に続き内容がネットワーク情報と連動していますので合体版としてお知らせさせていただきます

倍九条改憲 NO！憲法を生かす 3000 万署名の成功を！

市民アクション通信

No.5
2018.5.20

発行 ＝ 安倍九条改憲NO！伊東市民アクション

署名集約先：伊東市職労付　〒414-0046 伊東市大原 2-1-1　Tel.0557-37-9134　Fax.0557-37-1347

現在の署名数
6341

署名最終集約の５月、安倍改憲阻止へ向けて

ラストスパート！

一人でも多くの参加で目標（15000 筆）めざし最後まで奮闘しよう！

事務局によせられた署名数（数のみ報告も含む）は、６３００筆を超えました。５月３日の憲法集会（藤の広場）では、到達を報告しみんなの頑張りを確認し合って、さらに押し上げようと気勢を上げました。

「1350万人を超えた！さらに3000万人をめざそう」 ～「全国市民アクション」が声明を発表

声明では、安倍政権の退陣、改憲反対の世論は広がっている一方で、安倍首相や自民党改憲本部は「安倍政権下での改憲発議の方針にしがみついています」と指摘。「彼らに憲法改悪をあきらめさせ、退陣に追い込むためには、私たちは手を緩めず、もうひと押しふた押しの努力が必要です」と語り、それぞれの地域目標と、全体で３０００万人の目標を達成しようと訴えています。また、２４日から３０日までを「全国いっせい街宣・署名週間」として、取り組みを呼びかけています。

憲法ミニ学習会 in うさみ
「9条改憲って何？」
DVD 視聴
グループトーク
５月２６日（土）
午後２時～
宇佐美コミセン視聴覚室

３０００万署名に参加して（雑感）
～「平和委員会城ケ崎サークル」の戸田さん

今回の署名活動は内容が内容だけに、結構力が入ったものになったのは私に限らず、多くのこの活動に加わった人達が一様に感じていたのではないかと思う。そうした安倍政治をなんとかしなければとの思いが、現実の署名活動の場で、躊躇したり、逃げたり、大の大人が、私の一存では…といった情けない反応をされると、この人は毎日何を考えて生きてきたのか、今こそ書く時、一生否孫子の代まで後悔することになるのにと相手を責めるが、所詮他人事なのだと思うと同行の士がすっと割って入って、何とさらさら書いて貰っていたりする。これまで辿って来た人生と人生のぶつけ合いなのだ。

だから緊張したり、攻撃したり、意気投合したり（結構ある）、はたまた口論にまで及んだり。二人一組体制が合っていそうで、そうしてきたが、そろそろ終局、結局はブーメランのように投げた人の下に返って来て、その時後悔しないようにしたいが、果して後悔しなくて済むのか？そのための努力はまだまだ続きそうだ。

５月３日憲法記念日「意見広告運動」の取り組み
ご協力ありがとうございました ～９条の会・伊東～

県下の９条の会の仲間とともに、朝日新聞県内版への全面広告掲載運動に参加しました（８５団体、掲載者５１６０人）。伊東で賛同いただいた方は３４５人（うち掲載３０７人）でした。募金とあわせ多くの方のご協力、本当にありがとうございました。昨年よりも全体で３４１人、伊東でも４５人掲載人数が増えており、時世を反映した安倍改憲を許さない強い意志が感じられました。

賛同いただいた方々には、原寸大の抜き刷りをお届けします。